

平成27年度

昭和薬科大学附属高等学校・中学校

後援会会報

発行：平成27年6月 後援会事務局(本校内) TEL 098-870-1852

平成27年度 役員会開催

「昭和薬科大学附属高等学校・中学校後援会」は、附属高等学校の創立20周年を機に、1995年（平成7年）卒業生父母・高校同窓会・PTAで結成され、学校の教育事業を支援する活動を行っています。

後援会では、6月6日（土）午後7時から平成27年度の役員会を開催し、

- ①平成26年度会務報告及び決算 ②監査報告
- ③平成27年度役員 ④平成27年度事業計画及び予算

の4議案を全会一致で承認しました。（次頁資料参考）。

平成27年度の活動計画として

- ①奨学金貸与（経済的理由により就学困難な生徒に対し、奨学金を貸与する。年間2人 年額360,000円、3年間）
- ②特別活動援助（県代表として県外に派遣される生徒に対し、援助を行う。）
- ③講演会（生徒の学習意欲を喚起し、進学目標を達成させるためモチベーションを高める講演会を実施する。）

以上3つが確認されました。

平成27年度役員については、下記の通りとなりました。



比嘉幹郎会長



—— 平成27年度 後援会役員（ ）は所属 ——

■ 会 長	比嘉 幹郎（卒業生父母）		
■ 副会長	伊禮 正直（卒業生父母）	新里 守人（同窓会長）	花城 哲（PTA会長）
■ 理 事	知念 良和（卒業生父母）	新垣 吉浩（卒業生父母）	本成 悦子（卒業生父母）
	渡慶次 実（卒業生父母）	小山 師子（卒業生父母）	宮城 寛清（卒業生父母）
	喜納兼次郎（卒業生父母）	高江洲和男（卒業生父母）	新城 伸子（卒業生父母）
	眞榮田明美（卒業生父母）	当山 恵子（卒業生父母）	渡久地若江（PTA副会長）
	作田 利和（PTA副会長）	大田 俊治（PTA副会長）	吉田 正（同窓会）
	又吉まゆみ（同窓会）	又吉 教彦（同窓会）	新城 正志（同窓会）
	玉木 英恒（職員OB）		
■ 監 事	赤嶺 秀男（卒業生父母）	知念 拡（職員OB）	
■ 顧 問	宮里 毅（3代校長）	比嘉 定俊（4代校長）	安室 肇（5代校長）
	稲福 達也（現校長）		



■ 事務局	事務局長 北川 隆（同窓会）	事務局（次長） 根路銘 敦（同窓会）
	幹 事 新垣 志信（教頭）	大田 一夫（教頭）

平成26年度 会務報告及び決算報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

◎収 入

	科 目	予 算	決 算
1	入 会 金	1,200,000	1,630,000
2	寄 付 金	600,000	833,461
3	奨学金返還	162,000	0
4	雑 収 入	1,000	5,003
5	繰 越 金	15,953,322	15,953,322
	計	17,916,322	18,421,786

※ 入会金（1万円）は、高校卒業時に入会案内をして父母のご協力をお願いしています。

※ 寄付金は同窓会・PTAからで、PTAはバザーの収益があてられました。

（平成26年度の寄付金の決算内訳）

同窓会 300,000円 PTA 433,461円

その他 100,000円

※ 平成26年度は奨学生の継続者2名と新規枠3名。

※ 奨学事業基金は奨学事業のための積立金です。

※ 特別活動援助として、平成26年度は県外の大会等に参加した生徒16名に派遣費（1人5,000円）を援助しました。

※ 特別活動援助金（内訳）

高校／剣道部・書道（個人）

中学／剣道部・水泳部・珠算（個人）

◎支 出

	科 目	予 算	決 算
1	運 営 費	233,000	154,063
2	事 業 費	17,480,000	1,906,524
	1 当年奨学事業	1,440,000	1,800,000
	2 奨学事業基金	15,120,000	0
	3 特別活動援助	520,000	80,000
	4 講 演 会	200,000	0
	5 渉 外 費	200,000	26,524
3	寄 付 金	0	0
4	予 備 費	203,322	11,016
	計	17,916,322	2,071,603

平成27年度 活動計画及び予算

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

◎収 入

	科 目	予 算
1	入 会 金	1,200,000
2	寄 付 金	600,000
3	奨学金返還	324,000
4	雑 収 入	1,000
5	繰 越 金	16,350,183
	計	18,475,183

◎支 出

	科 目	予 算
1	運 営 費	233,000
2	事 業 費	17,570,000
	1 当年奨学事業	1,950,000
	2 奨学事業基金	14,820,000
	3 特別活動援助	500,000
	4 講 演 会	200,000
	5 渉 外 費	100,000
3	寄 付 金	500,000
4	予 備 費	172,183
	計	18,475,183



▲特別活動援助金交付式

※ 支出の当年奨学事業は、奨学生4名の継続と今年度の新規枠2名が予算化されています。

※ 寄付金は、新校舎落成記念品代として予算化されています。

後援会活動報告

昨/年/度/の/活/動//////////

●生徒への特別活動援助金〔個人・団体〕 【高校部活動】

1. 書 道 沖縄県教育長賞
全国高等学校総合文化祭派遣 1名
2. 剣 道 男子団体 3位
男子個人 7位
九州高校選抜剣道大会派遣 7名

【中学部活動】

1. 水泳部 フリーリレー 1位
九州中学校水泳競技大会派遣 5名
2. 剣道部 個人準優勝
全国中学校体育大会派遣 1名
3. 剣道部 個人準優勝
九州中学校体育大会派遣 1名
4. 珠 算 優秀な成績
全九州珠算選手権大会派遣 1名

●新校舎落成にむけて

新校舎の建築工事が現在順調に進められています。新校舎完成予定は来年2月、その後は、現在のC棟・B棟を解体して運動場にする造成工事が来年12月まで行われます。後援会では新校舎の落成を祝うと共に、生徒たちのより良い教育環境作りに、今まで同様に協力していきたいと思っています。



後援会奨学生募集

財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（旧日本育英会）などが運営する公的な奨学金制度は、高校生を対象としていて、中学生への貸与は行われません。その点、後援会の奨学金制度は、中学生も対象としているのが特徴です。他の奨学資金との併用はできませんが、中学生の間は後援会の制度を利用し、高校生になったら返済期間が長い公的な奨学金制度へ切り替えることもできます。平成26年度までに13名の生徒が後援会の奨学金制度を利用しています。希望者は、学級担任を通して新垣教頭に相談して下さい。

後援会の沿革

1993年（平成5年）

高校同窓会の呼びかけで、卒業生父母とPTAの三者により「創立20周年記念会館建設期成会」（比嘉幹郎会長）を結成。

1995年（平成7年）

創立20周年記念会館が落成し（総工費約5千万円）学校へ寄贈する。目標を達成した「建設期成会」は、引き続き学校の教育目標達成に必要な支援を行う為に、「昭和薬科大学附属高等学校・中学校後援会」（比嘉幹郎会長）として再編・発足する。

2002年（平成14年）

奨学事業と生徒の特別活動援助事業を開始。また、高校創立30周年記念事業に向けて「創立30周年記念事業期成会」を結成し、資金造成に協力する。
（2004年資金造成目標を達成 30,139,005円）
○生徒の県外派遣へ計270,000円補助

2004年～2007年（平成16年～19年）

この年度に会則一部改正
（従来の「卒業生父母の会」を発展解消し、卒業生の父母は直接後援会へ入会することになった）
○奨学金 貸与
○生徒の県外派遣

2008年（平成20年）

○生徒の県外派遣へ計710,000円補助
○生徒対象講演会協賛

2009年（平成21年）

○生徒の県外派遣へ計420,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2010年（平成22年）

○生徒の県外派遣等計360,000円補助
○40周年記念事業のための募金

2011年（平成23年）

○生徒の県外派遣等計295,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2012年（平成24年）

○生徒の県外派遣等計320,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2013年（平成25年）

○生徒の県外派遣等計180,000円補助
○40周年記念事業のための募金

2014年（平成26年）

○生徒の県外派遣等計80,000円補助